

# ふき替え完成

和紙の里  
細川紙紙すき家屋

和紙の里内にある細川紙紙すき家屋の屋根ふき替え工事が2月15日に完成しました。

紙すき家屋は、平成7年度に県の補助金を受け、屋根の全面ふき替え工事実施後16年が経過し、また、平成22年3月の大雪により被害を受け、屋根の部材が露出する状態となりました。

このため、文化財の保存を図ることを目的として、県の補助事業で1月10日よりふき替え工事を行い、現在は新しいかやぶき屋根となり、新たな姿を見せてくれています。



## 新しいかやぶき屋根になった細川紙紙すき家屋 (県指定有形民俗文化財)

家屋の建築年代は17世紀末と推定されています。近世から近代にかけて細川紙の紙すきが盛んに行われていた頃の一般的な紙漉き家屋で、寄棟造り、かやぶき屋根となっています。

この家屋は奥沢地区で母屋として使用されていましたが、細川紙手すき和紙関係用具の収集の一環として村が譲り受け、移築復原したものです。

## 紙すき家屋ふき替え 完成記念イベント

紙すき家屋のふき替え工事の完成を記念して、完成した紙すき家屋でお茶席を行います。

当日、そば処「すきふね」をご利用いただいた方、先着50名様をお茶席に無料でご招待いたします。

ぜひご来場ください。

**日時** 平成24年3月25日(日)  
午前11時～

**会場** 紙すき家屋  
**対象者** すきふねでお食事していただいた方  
(整理券をお渡しします。)

**お茶席** 表千家 宇田川宗伊先生  
**問合せ** 東秩父村和紙の里

☎82-1468



▲栗島光政さん(御堂)撮影



▲傷んだかやを取り除き、新しいかやを軒から棟に向かいふき替えていきました

工事の様子